

# おーぶん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>  
 i-mode <http://www.yaic.gr.jp/i/>

発行: 横浜AIDS市民活動センター  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地  
 尾上町ビル9F  
 TEL: 045-650-5421 / FAX: 045-650-5422  
 E-mail: info@yaic.gr.jp  
 平日: 13:00~20:00 / 土・日・祝: 10:00~17:00  
 (火曜日 夜間検査のため休館)  
 監修: 横浜市健康福祉局

## 世界エイズデーinYokohama2008

無事終了、ご報告します。

2008年11月29日(土)



レッドリボンとプラバン作り



大人気のコムちゃん!



大はしゃぎのコムちゃん!

12月1日は世界エイズデーということで、横浜そごう前の新都市プラザにて世界エイズデーイベントを行いました。

このイベントはHIV・エイズについて理解し、恋人、家族や友達と一緒にHIV・エイズについて考えてもらうきっかけにしてみようとお催しました。

イベントでは、横浜AIDS市民活動センターに事務局がある、“AIDSネットワーク横浜”さん、“アジアの女性と子どもネットワーク”さんと、横浜駅に近くにコミュニティセンターを構える、“かながわレインボーセンターSHIP”さんと一緒に、クイズ大会や、レッドリボン作りやプラバン作りなどを行いました。

そして、センターマスコットのコムちゃんもノリまくってダンスまで披露して、子どもだけでなく大人にまで(特に美人に)大人気で“アイドル撮影会か!?”というほど写真を撮ってもらいました!!



AIDS/エイズを正しく学ぼう!



写真展“presence 2008”



予防啓発グッズを無料配布!

1~3ページの下に各団体の紹介文があるので見てね!



☆かながわレインボーセンターSHIP☆

HP: <http://ship.y-cru.com>

セクシャルマイノリティ(同性愛者・性同一性障害)のためのコミュニティースペースとして、横浜駅西口に平成19年9月にOPEN。誰でも無料で気軽に寄れる場所です。図書コーナーやドリンクコーナーもあり、ゆっくりとリラックスしながら読めますね♪ また、カウンセリング・相談(予約制)、性感染症検査(予約制)も実施しています。

## ☆☆☆知ってる？性感染症～淋菌感染症・梅毒 編～☆☆☆

淋病・梅毒は最も古い性感染症で、淋病の記録は古代の中国やエジプト、旧約聖書にも残されているそうです。古い病気といっても、過去のものでなく、現在も毎年多くの発病者の報告があります。

淋菌感染症

### 淋菌感染症はこんな所が好き！

淋菌感染症は淋菌という細菌が原因の病気です。淋菌は乾燥、高温、低温に弱く、人の身体以ては生存できません。淋菌は湿った所を好み、人の粘膜（口、咽頭、性器など）で増えます。

### 感染する経路

淋菌感染症は無防備な性的接触により感染します。



### こんな症状が出たら、淋菌感染症を疑おう！

**男性の場合：**尿道に軽いかゆみや、熱っぽさを感じたり、尿道から白い膿が出ます。また、排尿時に強い痛みがあったりしますが、そのまま放置していると排尿困難になったり、炎症が広がり、不妊の原因となることがあります。

**女性の場合：**軽い排尿痛や黄緑色のおりものや、尿道から膿が出ます。しかし、男性と違い、女性の場合は症状がでることがあまりなく、感染に気づきにくいです。感染していることに気付かずに放置していると、子宮や卵管に炎症が広がり、骨盤内膜炎や不妊の原因となります。



### 実はこんな症状も淋菌感染症かもしれない！？

のどが腫れた、のどが痛かったので病院へ行ったら、淋菌が原因だった！といったケースがありました。淋菌感染症は性的接触により感染するのだから、性器にしか症状が出ないと勘違いしている人もいますが、最近では、いろんな性的接触により、性器だけでなく、咽頭（のど）や目に感染するといった例が報告されています。

### 治療はかってにやめないこと！

症状がなくなったからといって、勝手に病院へ行くのをやめたり、薬を飲むのをやめないようにしましょう。淋菌感染症の治療に大切なのは、治療で完全に体から淋菌をなくすことです。淋菌がまだ体の中に残っている状態で、治療をやめてしまうと、淋菌が薬自体に耐性（病原菌などが一定の薬物に対して示す抵抗力）を持ってしまう可能性があります。そうすると治療する期間が長引いて、なかなか完治しないといったことも起きてくるので、絶対に先生から「治りましたよ」といわれるまでは治療を続けましょう。



### ちまたでの噂



ちまたでは、イソジン（消毒薬）でうがいしたり、洗ったりすれば淋菌感染症が治る、予防になるといった噂があるそうです。実際どうなのかというと、消毒薬はすでに感染してしまった場合には効果はありません。消毒薬の効果は、体の外（皮膚など）の殺菌や、菌の量を一時的に減らす効果しかありません。ですから、咽頭や、性器に感染した場合は消毒しても意味がありませんし、予防にもなりません。

☆AIDSネットワーク横浜☆ HP : <http://www.netpro.ne.jp/~any/>

ANY

HIV感染者・エイズ患者の方々のサポートと、AIDSに対する社会の知識・理解を深める活動を行うことを目的に、1993年2月に発足したボランティア団体です。世界中のエイズで逝った人々は、人を知り、愛を知り、よりよき明日を生きるために、多くのメッセージを残していきました。それに基づいて、HIVを持っている人、感染不安を持つ人を支援するとともに、誰もが自分らしく生きるために、差別や偏見と闘い、住みやすい社会を目指して活動しています。

## 流行の兆し?



「梅毒ってまだ存在してたの?」と思う人も多いかもしれませんが、現在も存在する病気です。国立感染症研究所の調べで、2003年から梅毒が増加傾向にあるということが分かりました。梅毒は治療すれば治る病気ですが、そのまま放置すると死に至ることもある病気です。そして、妊娠している人が梅毒に感染していると、血液、胎盤を通して胎児に感染する恐れがあるので、生まれてきた赤ちゃんが死亡してしまったり、重い後遺症をもって生まれてくることがあります。

## 感染する経路

梅毒はトレポネーマ・パリダムという細菌が原因の病気です。感染経路は性的接触、母子感染などです。性的接触以外にも粘膜や皮膚の小さな傷から感染することもあります。

## 段階がある症状

症状は男女とも同じ症状が出ます。病気の進行によって、症状が違ってきます。

**第1期:** 性器、口など感染した部分に、直径1cm くらいの硬いしこりやブツブツができます。足の付け根のリンパ腺が腫れますが、痛みはありません。この時にできたしこりやブツブツは自然に消えていきます。

**第2期:** 全身に小さな斑点が出たり、感染部にしこりができます。この時もやはりかゆみ、痛みもなく、自然に症状がなくなります。その他にも、後頭部が脱毛したりします（これを隠す目的でヨーロッパでは16世紀頃からカツラが大流行したといわれます。）

この時期がもっとも感染力が強いといわれています。

**第3期:** 第2期が終わる頃から数年間は無症状の状態が続きます。この時期では、症状が体に現れていないため血液検査でしか感染しているかは判断できません。

**第4期:** 感染から10数年以上経過すると、皮膚や内臓にゴム腫（硬いしこりやコブ）ができます。そして、心臓や血管や神経などにも障害が出て、日常生活が困難になります。

このように、症状が出ては自然に消えるので、病気が治ったと勘違いしがちですが、実は着々と病気が進行しているのです。

## ザ・雑学～名前の由来

症状・第2期のしこりが楊梅（ヤマモモ）の果実に似ているので楊梅瘡（ようばいそう）と呼ばれたことからきています。いつの間にか「楊」の字が取れて、次第に梅毒→梅毒と変化しました。う～ん、タメになるねえ～



この果実が第二期のしこりの症状に似ているらしいです。

## 早期発見・早期治療が大事

梅毒は早期発見であればあるほど、治療期間が短くなります。治るまでは抗生物質を飲み、検査で陰性と出るまでは根気よく飲み続けましょう。病気が進行している場合は、体の中の菌を退治するのに時間がかかるため、治療にも時間がかかります。



## 検査に行こう

淋菌感染症・梅毒の検査は、婦人科や泌尿器科、喉に違和感がある場合は耳鼻咽喉科に行くと検査・治療ができます。その他にも、横浜で毎週火曜日に行われている夜間検査では、HIV・エイズ、クラミジア以外にも、梅毒の検査（淋菌感染症はやっていませんのでご注意ください）を行っていますので、お気軽に検査を受けにいきます。

**場所:** 夜間検査会場～横浜AIDS市民活動センター（横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F）

**時間:** 毎週火曜日 18:00～19:30

**検査についての問い合わせ:** 201-8830

※火曜日・18:00～19:30のみ通話できます。

それ以外は音声アナウンスが流れます。

火曜日に検査を受けて～  
次週に結果をもらう～  
テュラテュラテュラテュラテュラリヤリヤ～  
テュラテュラテュラテュラリヤリヤ～  
(1週間の歌のカンジで)



☆アジアの女性と子どもネットワーク☆ HP: <http://www.awcnetwork.org>

1996年に設立された、主に教育支援に中心にアジアの女性と子どもたちの権利を守るための活動している。タイの少数民族のための学校建設や奨学支援、給食支援、AIDS孤児施設・AIDSシェルターへの支援、スタディーツアーの実施、国内では子ども買春や子どもポルノなどの性的搾取・人身売買の根絶を目指す活動を続けている。「人のためではなく、自分のために」をモットーにしている。

